



令和2年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和 3年 2月 25日

横浜市立高田小学校

3月号

飛躍の世代

校長 赤坂 桂

日ごとに暖くなる日差しに春を感じるこの頃となりました。早いもので今年度最後の月となります。振り返れば4月は入学式以降すぐに休校となりました。こんなに長い休校は初めてのことで戸惑いました。

そして分散登校や宿泊学習の中止、運動会が半日の体育参観になり、土曜参観も20分間だけとなりました。全員前を向いて黙って食べる給食や1日中マスクをつける生活など子供たちの学校生活も変化しました。

そんな中でも工夫して様々な教育活動を行ってきました。1月の集会活動では異学年の交流もオンラインで行いました。上級生が体育館でジェスチャーをして教室の下級生が当てる、というゲームです。私には思いつきもしない集会のスタイルでした。

制限の多い学校生活ですが、全てをあきらめるのではなく、今「あるもの」「できること」から新しい生活を創り出す発想が求められた年だった、と感じています。

さて、17歳でノーベル平和賞を受賞したパキスタンのマララ・ユスフザイさんは昨年、コロナ禍によりご自身の卒業式ができなかったことを受けてこんな発言をしたそうです。

「私も自分の卒業式がなかったことがとても残念です。でも、私たちは一人ではありません。新型コロナウイルスは、世界10億人以上の生徒を学校から追い出しましたが、これは一時的なものであり、私たちは学び続け、夢を追いかけることを止めません。(中略)2020年の卒業生は、ウイルスで何を失ったかではなく、どう対応したかで決まります。世界は私たちのものであり、私たちはこれから何ができるのか、とても楽しみです。」

このコロナ禍の中で生活し、学び続けた世代は考え方や学び方が飛躍する可能性を秘めています。きっと以前の世代とは違った考え方、価値観を育み、新しい世界を創っていくのでしょう。今の時代を前向きにとらえ、学び続けることを学校でも支えていきたいと思えます。

さて、年度が明けて令和3年度がスタートしてもしばらくは感染症対策をしながらの教育活動が続くと思われます。これまでの年間行事、活動の在り方を考え直しながら学びを止めないよう一層、努力していきます。今年度、様々なことに対して保護者の皆様、地域の皆様には大変ご理解とご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。